

2022 年 3 月 8 日

各 位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～有限会社 東北農林建設～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、有限会社 東北農林建設様（代表取締役社長 長澤貫一）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会 社 名	有限会社 東北農林建設
所 在 地	〒020-0052 岩手県盛岡市中太田屋敷田 108 番地
代 表 者	代表取締役社長 長澤貫一
業 種	土木工事・建築工事・とび土木工事・塗装工事・水道施設工事等

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以 上

〔本件に関するお問い合わせ先〕

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：佐藤弘滋） TEL：080-8603-1669

企業概要



有限会社 東北農林建設

代表取締役 長澤 貫一

(所在地：岩手県盛岡市)



当社について

東北農林建設は、昭和63年に設立された土木工事・建築工事を行う企業です。

今日の建設にあっては、機能性だけではなく、地域の文化や伝統、そして自然環境を大切にしたい魅力ある街創りとの調和が重視されています。

東北農林建設は、「発想の自由形」をテーマに、チャレンジ精神を忘れず、積極的な姿勢でさらなる飛躍を目指し、今後も岩手県のまちづくりに貢献して参ります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	温室効果ガス排出量の削減、廃棄物の3Rの推進、生物多様性・生態系保全
従業員の働きがい	従業員の体の健康保持、女性活躍の推進、子育てと仕事の両立支援
地域社会への貢献	従業員のボランティア支援、地域とのコミュニケーション、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、不正の早期発見・防止策、BCPの策定

有限会社 東北農林建設 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2022年3月8日

有限会社 東北農林建設
代表取締役 長澤 貫一

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

CO2排出量削減を目指し、地球にやさしい施工を行います。

▼ 目標・取り組み内容

- ・J-クレジット制度に参加します
- ・建設廃材をリサイクルし再生材使用住宅を推進いたします
- ・掘削残土は再利用し、埋め立て緑化に取り組みます



従業員の働きがい

一人ひとりが仕事にやりがいを感じ、能力を最大限に発揮することができる職場環境を整備します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・健康経営に取り組みます
- ・女性が活躍する職場づくりを目指します
- ・子育てと仕事の両立を支援します



地域社会への貢献

地域社会の環境整備活動に参画し、住みよいまちづくりに取り組みます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・従業員のボランティア活動を推進します
- ・環境整備活動に積極的に取り組みます
- ・県産材の木材を主とした建築物推進を目指します



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス研修を実施し、社内体制の強化を図ります。

▼ 目標・取り組み内容

- ・年一回の社外講師研修と社内教育研修を実施します
- ・社内に相談窓口を設置し、内部通報制度を導入いたします
- ・災害対策訓練及び体制組織の確立

